

「多言語を共有するピアザのチカラ！」

—世界に通じる力を育てる— 第 79 号

こんにちは。NPO 法人 多言語広場（ピアザ）CELULAS の笹倉です。（以後セルラスと表記します）

秋の一連の講演会「世界に通じる力を育てる！」も無事終了し、明日からは早くも師走に入ります!!  
講演会にはたくさんの方が足を運んで下さり、感想文もいただき、大変ありがたく思っております。  
そしてこのメルマガに新規登録していただいた方々にも、心より御礼申し上げます。

セルラスの活動は「自分で見つける力」が指針のひとつとなっています。

何年も活動を続けている私なども、新メンバーの方々の体験を聞いてハッとしたり、  
改めてこの活動の良さに気づかされるが多々あります。

今回のメルマガでは、入会数か月のセルラスメンバーが語ってくれた  
入会前後の手記をご紹介します。

---

『多言語を共有するピアザのチカラ！』

川崎市在住 清水陽子さん（家族構成：夫 長女 大2 次女 中3 三女 小4）

我が家はこの8月にセルラスに入会しました。

まだ短いですが、これまでの体験をお話しさせていただきたいと思います。

【娘の友だちの変化にびっくり！】

まずセルラスに興味を持ったきっかけについてですが、

小4の娘の仲良しの近所のお友達が、2年ほど前からセルラスに参加していました。

少しおとなしめで口数も少な目だったその女の子が、

だんだんと雰囲気や話し方が変わってきたのに気が付きました。

ある日暗くなってから1人で出かける様子を見かけ、心配になって声をかけました。

彼女は習い事ではないけど、そんな感じのところに行くのだと答えました。

妹さんが風邪を引いたので、お母さんが一緒に行けないとのことでした。

そこまでして行きたいところって何だろう、

そして今年の夏休みには1人で韓国に行くという話を聞いて、

一体どんな活動をしているのだろうと不思議に思ったのがきっかけでした。

【人の話を聞ける、人前で表現できる子供たち】

お母さんと話す機会があった時にセルラスの話を聞きました。

セルラスのことは学校で配られたプリントで2度ほど見たことがありましたが、

正直、良く分からないという印象でした。

そのお母さんも「なんて説明したら分かってもらえるかなぁ」と。

それならば一度活動に参加してみたらということで、

7月1日のホリディスーパーピアザという関東地域全体のセルラスメンバーの集まりに参加しました。

ホリディスーパーピアザで印象的だったのは、会話の合間に入る多言語です。

聞いたことがない単語ばかり。

そして感心したのは、いろんな方たちの話で半日びっしりのスケジュールの中、

疲れてザワザワしそうなのに、子供たちが人の話をちゃんと聞いている姿です。

そしてサマーキャンプやホームステイの抱負の発表した子たちは、

緊張しながらもとても前向きなメッセージを伝えていました。

こんな力はどんな活動で培われるのだろうと思い、溝の口の金曜のピアザに参加しました。

#### 【入会したわけは…】

参加してみて、正直、私は最初の一回目ではどんなことを得られるのかは分からず、

むしろチンプンカンプンで、自分たちが活動についていけるのか自信は持てませんでした。

それでも入会しようと思ったのは、メンバーの人たちが本当に歓迎してくれて、楽しかったからです。

皆さんの口から出る多言語に驚き、こんな風になりたいと思いました。

そして大人、子供を問わず、思うことを人前で話している姿が堂々としていて、好感を持てたからだと思います。

#### 【子供の素直さに大人が学ぶ】

入会して3ヶ月たちました。

最初のうちは、実は他の言語をやる前にやはり英語ではないか、とっていました。

また多言語を同時にやってもゴチャゴチャになるだけでは？という疑問がありました。

でもやっていくうちに全ての言語を（現在5カ国語）1つのストーリーに沿ってやることで、

むしろ多言語を同時にやるのが面白いと思えるようになりました。

一番聞き慣れている英語と比較することで発見できることもあるように思います。

私自身海外に在住した経験から、言語の習得には何よりも環境が必要だと感じますが、

国内ではなかなか望めません。でもセルラスの活動はそういった環境もあり、

小さい子供が言葉を覚えていく感覚で、娘も多言語を吸収していくのではないかとと思っています。

私は聞くことには慣れてきて、言語の特徴は分かるようになってきましたが、

ネイティブのスピードについてシャドウイングするのは本当に難しいです。

でも子供は小難しいことは考えず、吸収できた順に再生していきます。それは絶対子供には勝てません。

子供が大人よりも得意なところを披露できる場所、そんなところがあるセルラスは良いなと思います。

#### 【ピアザの皆と一緒にできる】

先日、溝の口ピアザ主催のファミリーキャンプが1泊2日でありました。  
多言語活動、バーベキュー、ナイトハイク、ディスカッションと結構ハードでしたが、  
大人も子供も役割を決めてそれぞれが責任を持って動いていて、セルラスの集団としての力を感じました。

また多言語活動についてディスカッションしていく中で、

『私が最初に多言語習得が難しいと感じていたことは実はみんな同じだった！』

『こうやってみんなと話して見つけていくんだ！』ということが分かりました。

そして自分の今いる場所から、1つでも2つでも言葉を見つけていければ良いんだと思えるようになりました！

それは大きな山を崩すような作業に思えますが、

ピアザで皆さんと共有することでこそ、やっていけそうな気がしています。